

[抄録様式]

財団法人 8020 推進財団

平成 30 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名: 独立校 120 運動

2. 申請者名: 名古屋市学校歯科医会会長 高村 秀平

3. 実施組織: 名古屋市学校歯科医会

4. 事業の概要:

西暦 2000 年に向けて WHO が示した歯科保健達成目標と 1996 年から提唱されている、教育理念「生きる力」の両立を具現化するために、名古屋市教育委員会と名古屋市学校歯科医会は、平成 9 年より「学校歯科 123 運動」をスタートさせました。この 123 運動に端を発する 12 シリーズは学校歯科医が学童期の初頭から健康作りに介入することで、対象児童が今後徐々に自立的健康づくりへと移行していく過程をサポートするきっかけとなる重要なポジションを担っています。しかしながら低学年児童での「学習能力」・「自己管理能力」・「ブラッシングの習熟度」を考慮すると、「保護者に対する意識改革」は不可欠であり、12 シリーズでは歯科セミナーを通して学習の機会及び情報の提供を行なっています。また、教育委員会の委託事業では予算に限りがあり、同時に多くの学校に 12 シリーズを経験させることは困難であることから、委託事業から独立した本事業（独立校 120 運動）の展開は重要な役割を担っています。

5. 事業内容

1) 「家庭歯科セミナー事前質問」を対象家庭へアンケートとして実施する。

2) 保護者を対象とした歯科セミナーの実施

先に実施したアンケート結果と児童の歯科検診の結果を突合・解析して各実施校の集団としての特徴を反映した歯科セミナーを実施する。歯科セミナーでは 120 運動とは？健康な歯肉とは？病的な歯肉とは？う歯と歯肉炎の原因である歯垢について。砂糖の摂取とう歯の関係。口の中磨けているかのチェック方法。仕上げ磨きの方法。歯ブラシと歯磨剤の選び方。う歯と全身疾患の係わりについて。唾液の役割と重要性について。歯科医院での定期検診の必要性について。C0、G0 について。矯正治療について。家庭で親子で話し合える課題について提供する

3) 低学年児童に行う仕上げ磨きのビデオレクチャーと模型を使った実地指導

4) 親子歯みがき教室

①RDテストの実施・・・生徒の唾液を採取し試薬につけ、試験紙である粘着シートで腕に貼り付けたまま、体温で 15～20 分培養し、試薬の色の変化によりう歯になりやすいかどうかの判定をする。

②染め出し・・・綿棒にて染め出し液を歯面に塗布し、児童が用紙に染まったところを記入。

③染め出された部分とスケッチを用いての児童による自分みがき

④子供まかせの歯みがきが、いかに不十分であるかを保護者に示し、仕上げ磨きの重要性を認識してもらう

⑤ブラッシング指導・・・保護者と児童に歯垢を確認させ、仕上げ磨きの方法を習得させる。

5) 学校歯科医による統括

6. 事業の評価

平成 30 年度は柳小学校、野跡小学校、菊住小学校、比良小学校、正色小学校、鳥羽見小学校、千石小学校の 7 校で 341 名の児童とその保護者を対象に独立校 120 運動を実施した。歯科セミナーや親子歯みがき教室を通して齲蝕のみならず口腔環境全般での保健教育と口腔衛生活動が行う事ができ、地域保健にも大いに役に立った事と思われた。